

沿岸域の生物多様性

～ 沿岸域の再生を通じた地球環境改善対策～



東京湾臨海部基幹的広域防災拠点人工干潟(川崎港東扇島)



尾道糸崎港人工干潟(広島県)



東京港第六台場のアオサギコロニー
(写真提供:認定NPO法人海塾)

開催趣旨

従来、「沿岸域の再生」は、海域環境再生や漁業振興、市民と海とのふれあいの場の回復といった視点から行われてきました。近年では、地域の特性に応じた里海づくりの取り組みも国内外で展開されるなど、新たな取り組みが進められています。また、2009年10月、国連機関から“BLUE CARBON - THE ROLE OF HEALTHY OCEANS IN BINDING CARBON-”と題する報告書が発表され、沿岸域が二酸化炭素吸収で大きな役割を果たすといわれており、今後、国内や世界的にも注目を集めることが予想されています。海岸線延長で世界第6位という日本の国土特性の観点から、また、今後、里海やブルーカーボンといった地域活性化や地球環境問題への貢献という視点が新たに加わることで、これまでの「沿岸域の再生」の取り組みがさらに加速されることが期待されています。

そこで、今回、パネルディスカッションを開催し、各パネリストからの話題提供をもとに、これからの「沿岸域の再生」の意義や方向性について議論します。

日時 平成22年**10月20日(水)**
15:30～18:00 (15:00開場)

場所 生物多様性交流フェア
白鳥地区会場内日本政府屋外大型テント
(名古屋国際会議場隣接)
愛知県名古屋市熱田区熱田西町 白鳥公園



● 地下鉄名城線『西高蔵』駅下車 2番出口より徒歩5分
地下鉄名港線『日比野』駅下車 1番出口より徒歩5分

募集人員 **140名** ※先着順

参加費 無料

沿岸域の生物多様性 ～ 沿岸域の再生を通じた地球環境改善対策 ～

プログラム

開 会

話題提供

1. 閉鎖性内湾の水環境の現在と将来

磯部 雅彦 氏 (東京大学副学長)



磯部 雅彦 氏
東京大学副学長

2. 日本の里山・里海と生態系サービス

武内 和彦 氏 (国連大学副学長)



武内 和彦 氏
国連大学副学長

3. サンゴ礁島嶼系における生態系の相互関連性と生物多様性

土屋 誠 氏 (琉球大学 理学部 教授)



土屋 誠 氏
琉球大学 理学部 教授

4. 沿岸域の開発・利用と両立した自然再生の試みと、地域と地球環境への貢献

中村 由行 氏 (独立行政法人 港湾空港技術研究所 研究主監)



中村 由行 氏
独立行政法人 港湾空港技術研究所
研究主監

パネルディスカッション

<コーディネーター> 磯部 雅彦 氏 (東京大学副学長)

<パネリスト> 武内 和彦 氏 (国連大学副学長)

土屋 誠 氏 (琉球大学 理学部 教授)

中村 由行 氏 (独立行政法人 港湾空港技術研究所 研究主監)

閉 会

※プログラムは、事前の予告なく変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

参加申し込み方法 (WEB)

お申し込み期間 平成22年10月1日(金)～平成22年10月15日(金)正午まで ◎定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加をご希望の方は、下記ホームページにてお申し込み下さい。

<https://comm.stage.ac/cop10side/>

◎お申し込み後のご案内はございません。開催当日に直接会場にお越し下さい。

◎本イベントでは、名古屋国際会議場のID登録所にて発行されるIDバッジは必要ありません。

※個人情報に関する取扱い: 参加申込書の個人情報は、本シンポジウムにかかる連絡のみの利用とし、事務局が適正に管理いたします。

お問い合わせ先

TEL:03-5253-8685 国土交通省 港湾局国際・環境課 / 担当 越後谷 (えちごや)